

照陽の家だより

〒683-0812
米子市角盤町3-124-3
TEL 0859-21-8151

今年も早や残すところ2ヶ月となりました。気忙しく焦る気持ちもありますが雲一つない真っ青な秋空を見上げると時間を忘れ心が浮き立ちます。11月は計画している行事やレクリエーションが盛沢山で利用者様の笑顔が溢れ職員も共生(ともいき)の喜びに包まれました。干し柿作りや焼き芋作りもこの時期ならではのもの、昔話に花が咲き利用者様同士の交流も活発です。健康状態を維持しながら生活リハビリを意識し、より良い生活を送って頂けるよう応援して参ります。

救急救命講習

11月4日(金)救命救急講習を開催しました。米子消防署より署員の高橋真一様にご来所頂き講師をつとめて頂きました。講習の初めに、高橋様より「高齢の方はいつ急変するか分からない。また自宅で心肺停止の状態に遭遇する機会があるかもしれない、という意識を常に持って下さい。」との話があり、緊張感のある講習となりました。この講習を通して、いざという時に迅速かつ的確な判断を職員一人一人が出来るようになるためにも、今後も講習や研修を重ねていくことが必要だと思いました。



焼き芋作り

準備から利用者様皆さんに参加して頂きホクホクの焼き芋が出来ました。いい匂いで食欲もアップ!!



秋の花満喫! 花回廊!



秋晴れの中、花回廊に行きました。優しい花の匂いを嗅ぎながら園内を散策すると、生きている喜びを実感することができ明日の活力になりました。



今年も美味しい干し柿が出来ますように!!



照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。



スタッフ紹介



看護師
村上 由美子

私はこれまで病院、透析クリニック、介護施設での勤務経験があります。とくに、病院では急性期、終末期、療養、回復期リハビリテーション病棟で勤務し、様々な患者様と接してきました。どの現場でも多くの患者様が「家に帰りたい」との願いを口にされていました。住み慣れた自宅で過ごしたいという患者様にスムーズに在宅療養へ移行できるように退院支援にも携わらせていただきました。病棟看護師が関わらせていただくことができるのは退院までです。退院後、患者様が在宅で安心して過ごされているか気がかりになることもありました。患者様が在宅で自分らしく生活するためのサポートをする訪問看護師という仕事に大変魅力を感じました。日々自己研鑽を重ねながら、利用者様が安心して在宅で生活が送れるための援助を最大限させて頂きたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。